

# FUTURE CENTER

## フューチャーセンター通信

2017.2.14 2017年3月15日発行号

VOL.30

### 研究者と地域との関わりを整理

地域協学センターでは、地域の課題に対して複数の学問領域の協働による解決に向けた取り組みを推進するために「地域志向学プロジェクト」の研究支援を行っています。研究プロジェクト採択者の参加を募り、2月14日(火)、「地域志向学とは何かー研究対象となっている「地域」とは何か」をテーマにフューチャーセンターを開催しました。

各グループの進行役は学生が担い、地域関係者も交えた状態で、最初に研究者がそれぞれの研究内容について説明しました。具体的な研究活動のイメージを共有した後、研究者と地域との関わりについて自由に意見交換を行いました。行政との相互理解の重要性、地域で研究活動を進めるときの学生の役割、地域住民との関係性の構築、問題意識の共有等、グループごとに様々な視点が出されました。

地域志向学に関するフューチャーセンターは今後も継続的に開催します。今回の成果をもとに、次年度以降さらに視点を絞り込んだ形で対話の場を作っていく事で、地域志向学の形を明らかにしていきます。



#### 今回のまとめ

- 研究者と行政や地域住民とのマッチングの機会が大切
- プロジェクトを通して地域の人とのつながりが得られた
- 地域にとっての当たり前が研究者には大きな発見になることもある
- 学生が入ることで地域の方が多くのことを伝えようとしてくれる
- 大切なのは問題意識を研究者と地域で共有すること

各グループからの  
意見・アイデア



#### 地域の意思を実現するお手伝い

岐阜大学教育学部2年  
藤浦 司 さん

一番印象に残っているのは、研究者が地域の問題認識について、認識がないなら問題提示をし、あるなら地域の人たちの意思を明確にもらってそれに沿う手伝いをするという事です。手伝うついでにデータを取る、自分からこうしろとは言わないようにしていると知り、地域と長続きする関係の作り方が分かった気がしました。



CCSC  
Center for Collaborative Study with Community

地域協学センター  
TEL.058-293-3168  
[http:// www.ccsc.gifu-u.ac.jp](http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp)

[ FAX ] 058-293-3167  
[ E-Mail ] ccsc@gifu-u.ac.jp



国立大学法人

岐阜大学



文部科学省

地(知)の拠点